

沖縄県理学療法士連盟

令和5年度9月 第6回沖理連定例会 議事録

日時;令和5年9月28日(木)19時～

議案作成:當間 議事録作成:宮城

場所;オンライン会議

参加者; ■小嶺衛、■立津統、■末吉恒一郎、□武富新太郎、■玉城すみれ、■當間智史、
■池城正浩、■比嘉憲彦、□新垣健、□兼島広樹、□下里真司、
□砂川真利香、□吉岡裕太、■宮城夏希、□牧之瀬七恵、■下地浩之、■西原美樹、
□石垣肇

議案・報告事項:

1. 『田中まさし氏座談会及び意見交換会報告』(池城会長・當間)

開催日時:8月31日(木)18:30～20:30、ハイブリッド開催

講師:田中まさし氏

参加者:181名申込、参加者156名(PT109名、OT41名、ST4名、学生2名)

報告:内藤秘書、参加者・申込者、沖理連会員、理事会、中部支部会議

・九州ブロック内でも多い参加者数。沖縄県の声として田中まさし氏へ提出している。理事会や事務局拡大会議でも内容の報告している。短期間で参加者数 up できたのは各支部長や各施設長・会員がご尽力頂いた結果だと思う。(當間)

・アンケートから、「各協会の長が参加されたこともあり、各団体協力して活動していく事が大事と感じた。」「各協会長の考えが聞けて良かった。」という声が多く聞かれた為、今後は積極的に他団体と団結して活動勧めていければいいなと思う。(當間)

※引き続き周囲の方々へ入会の声掛け協力お願いします。(池城会長)

・OT・STの協力で集票も変わると考える。(比嘉事務局長)

・多職種が多く参加されていたのはとても良い事。多職種の話を聞けて良かったという意見も多かった。このように多職種連携してやれるとよいなと感じた。(小嶺幹事)

・各士会の意見も聞けて良かったという意見が多い中、「長だけの意見は・・・」や「挙手して意見を述べるのはハードルが高かった。」という声もあった。偉い人が話されている中で、若手はなかなか意見あげるのは勇気がいる。若手の本音は聞き出しにくい環境かもしれない。(末吉監事) ➡若い声を拾うために今後、講演内容や開催方法に工夫(チャットで質疑可能等)が必要。

2. 懇談事項

① HP 進捗状況:(下里広報企画部長)

7月・8月掲載済み。

② 入会申込/寄付金申込(Peatix・通帳記帳運用)状況(當間)

4月21日時点入会状況、残高状況 円

令和4年度:入会人数:140名 会費:61,500円 寄附金:51,500円。

令和5年度:入会人数:65名、会費:30,931円、寄附金:20,199円、残高:232,489円

・令和4年度会員にも継続して入会呼び掛けている。(當間)

③ 島尻あい子と明日の沖縄を語る会(當間)→沖縄連からは参加者なし

開催日:9月1日(金)、18:00受付、18:30開会

会場:モーリアクラシック沖縄迎賓館

参加費:10,000円

④ 田中まさし全国後援会政経セミナー(池城会長)

開催日:9月23日(土)15:00~16:00、ハイブリッド開催

テーマ:わが国の財政状況及び財政政策を踏まえた積極財政の意義(仮)

—社会保障を含む施策の財源のありか他・考え方—

講師:本田悦朗氏(経済学者、静岡県立大学教授、元内閣官房参与)

・オンラインで参加した。半田会長も挨拶されていた。後日、内容に関して資料が届く予定。その際に共有していく。(池城会長)

⑤ 國場幸之助激励政経セミナー(當間)→沖縄連からは参加者なし

開催日:9月23日(土)、13:30開場、14:00開会、会費10,000円

講師:宮沢洋一参議院議員(自由民主党税制調査会長)

場所:ホテルモーリアクラシック沖縄(那覇市)

⑥ 國場幸之助活動報告チラシ共有(當間)

・台風被害への協力に力を入れて活動されていた。SNS等でもアンテナ張って情報収集に努めていく。(當間副会長)

・講演会など案内来たら都合併せて参加したいと考えているが、今回は都合併せ困難なものが多かった。(池城会長)

⑦ 長崎県理学療法士連盟研修共有/日本理学療法士連盟女性局研修(當間)

・長崎の研修のようなシステムを参考にして沖縄県も活動していった方が良いと感じている。(立津監事)

・高名な先生方の研修会が予定されている。(當間副会長)

・女性局研修は沖縄県連盟からの参加なし。今後、極力早期に案内呼びかけていくので協力をお願いします。(當間副会長)

・日本理学療法士連盟女性局研修を参考に沖縄版の研修企画してもよいと思う。(池城会長)

⑧ 田中昌史広報資料活用依頼(當間副会長)

3. その他

・学会のあいさつについては、開会式に田中先生からzoomにて挨拶頂く事になった。(オンラインまたはビデオ上映)(立津監事)

・宮崎氏が副大臣に就任した。今のうちに宮崎氏と会って話す機会を持ち、つながりを強くしていく。政治家の先生方とどのように繋がっていけるか考えていきたい。(立津監事)

- ・長崎の研修は高名な先生方が講師だが無料参加となっている。予算の運用方法を確認し、参考にしていきたい。
- ・最近の定例会は役割が固定化されている。色々反省点あるが、協力できる方が増えると作業がスムーズになると考えている。今後の課題として考えていきたい。(當間副会長)
- ・この会議に参加してくれる会員をさらに増やしサポートできる人を増やしていけるような方がいい。(比嘉事務局長)
- ・選挙の際に作成した各支部を中心とした組織図の構成を活用して役割分担していくのもよいと思う。(池城会長)
- ・今年度の事業としては・・・トリプル改定についての研修会企画で手一杯。(當間副会長)
- ・年度初めに入会案内が出来るように努めていかないと入会者数 up は困難では？連盟の年度は1月～12月であり、早めの(當間副会長)
- ・宮古、八重山支部で書記を分担していく話が挙がったが、なかなか手伝えずに申し訳ない。今後、協力していきたい。(西原委員)
- ・今回の田中先生の座談会を通して役割分担の重要性を再認識した。研修会運用の全容を共有して作業分担の準備が出来るよう今後運用していきたいと考えているので、協力お願いします。(當間副会長)
- ・北部支部でも若手をどう巻き込んでいくか議題に挙がっている。若手は政治への抵抗感がある。以前開催された、研修の中で城間定治さんの“PTの足元を見直す”事を諭しながら最終的に政治に参加しよう！！という話の進め方がとてもよかった。城間さんに講師を依頼して若手の理解を深め、会員数 up を図ってはどうか？(玉城委員)
- ・若手はどうやって国政に我々の声が届くのかを知らない人が多い。わからないから連盟に入会しづらいのでは？池城会長が以前に自分達の診療・エビデンスが中医協の根拠となり、診療報酬改定に結びつくかの動画供覧があり、自施設スタッフへ紹介後、選挙に投票した方もいたので、若手に理解して貰うことが重要と考えている。(下地委員)
- ・皆さんのお知恵を借りながら、支部での仲間作りをしていきたい。(西原委員)
- ・自分たちの仕事に関することに直結する。市町村との連携の際、議員の力も借りながら制度や市町村民に理学療法士が為になっている成功体験を、定例会・会員と共有していけたら入会者数 up につながると考える。(當間副会長)

次回開催 令和5年10月26日(木)19:00～(第4木曜日)